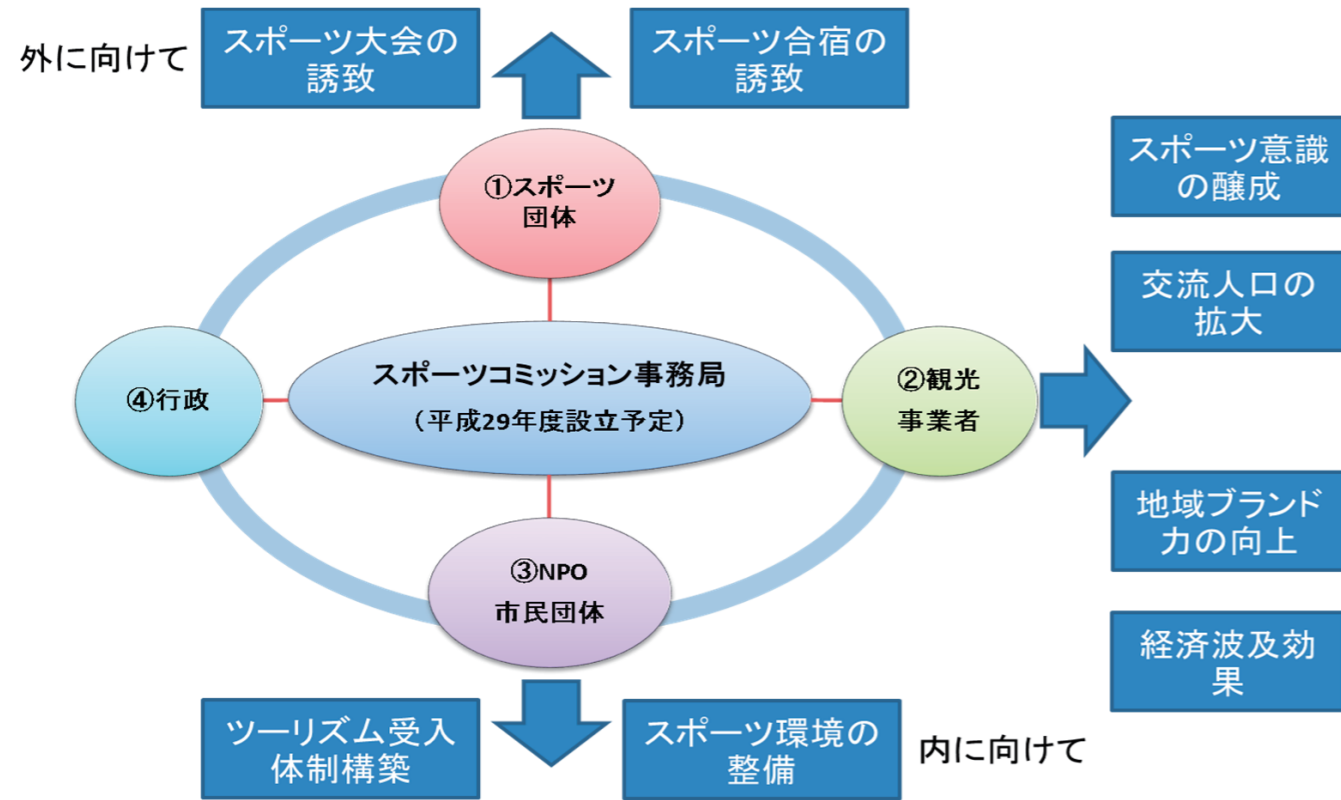


スポーツコミッションについて

スポーツコミッションは、スポーツ団体、観光事業者(宿泊・飲食・交通等)、NPO・市民団体、行政等とスポーツに関する情報・人材をつなぐ組織であり、スポーツに関する大会やイベント、合宿の誘致、スポーツを通じた交流促進等による市外からの誘客や矢板市の地域経済活性化を目指して設立するものです。

具体的には、各団体より情報収集を行い、その情報を他団体へ展開し、必要に応じて調整することで、スポーツに関連した交流人口の拡大、経済波及効果を図ります。また、収集した情報を分析することで、より効果的なPR、イベントの開催等を検討・実施していきます。

<推進体制のイメージ>



<各団体において想定される役割等>

スポーツ団体 ・合宿、大会等の情報提供 ・スポーツ施設の利用調整 等	観光事業者 ・宿泊、飲食、交通等の手配 ・合宿、大会等の受け入れ 等
NPO、市民団体 ・イベントの企画、運営 等	行政 ・スポーツ・観光施策の展開 ・スポーツコミッションの運営支援 等

スポーツツーリズム推進アクションプランの進め方

スポーツコミッション事務局と関係団体が短期・中長期の課題を協議し、各競技団体や観光事業者等によって実施された具体的施策を共有、検証しながら、具体的な取組みの進め方やターゲット(対象エリア、競技等)を検討していきます。

問合せ先 : 矢板市商工観光課 〒329-2192 栃木県矢板市本町5番4号
 電話 0287-43-6211 FAX 0287-44-3324 メールアドレス kankou@city.yaita.tochigi.jp



PHOTO : YUKIO MAEDA / M-WAVE

矢板市スポーツツーリズム推進アクションプラン 概要版



平成29年3月

スポーツツーリズムとは？

スポーツツーリズムとは、①スポーツを「観る」「する」ための旅行そのものや周辺地域観光、②スポーツを「支える」人々との交流、③旅行者が旅先で主体的にスポーツに親しむことのできる環境の整備、④国際競技大会の招致・開催、⑤スポーツ合宿の招致を包含したものとされており、地域独自のスポーツ資源を再評価し、交流人口の拡大や誘客を促進させることです。地域の認知度や知名度の向上を図ることは、地域の発展や存続において今後一層重要になります。

このような観点からスポーツツーリズムの推進に取り組む自治体が増え、スポーツ関連イベントの開催や、大会・合宿誘致、推進団体の設立等、自治体による様々なスポーツツーリズムの推進活動が展開されるようになってきました。

矢板市におけるスポーツツーリズム

矢板市の豊かな自然環境、東京圏からのアクセスの良さといった立地利便性、多様なスポーツ資源などを積極的に活用することで、交流人口の拡大や地域経済への波及効果を図ることを目的に「スポーツツーリズム推進アクションプラン」を策定し、市内外へのプロモーションを総合的、積極的に展開していくことといたしました。

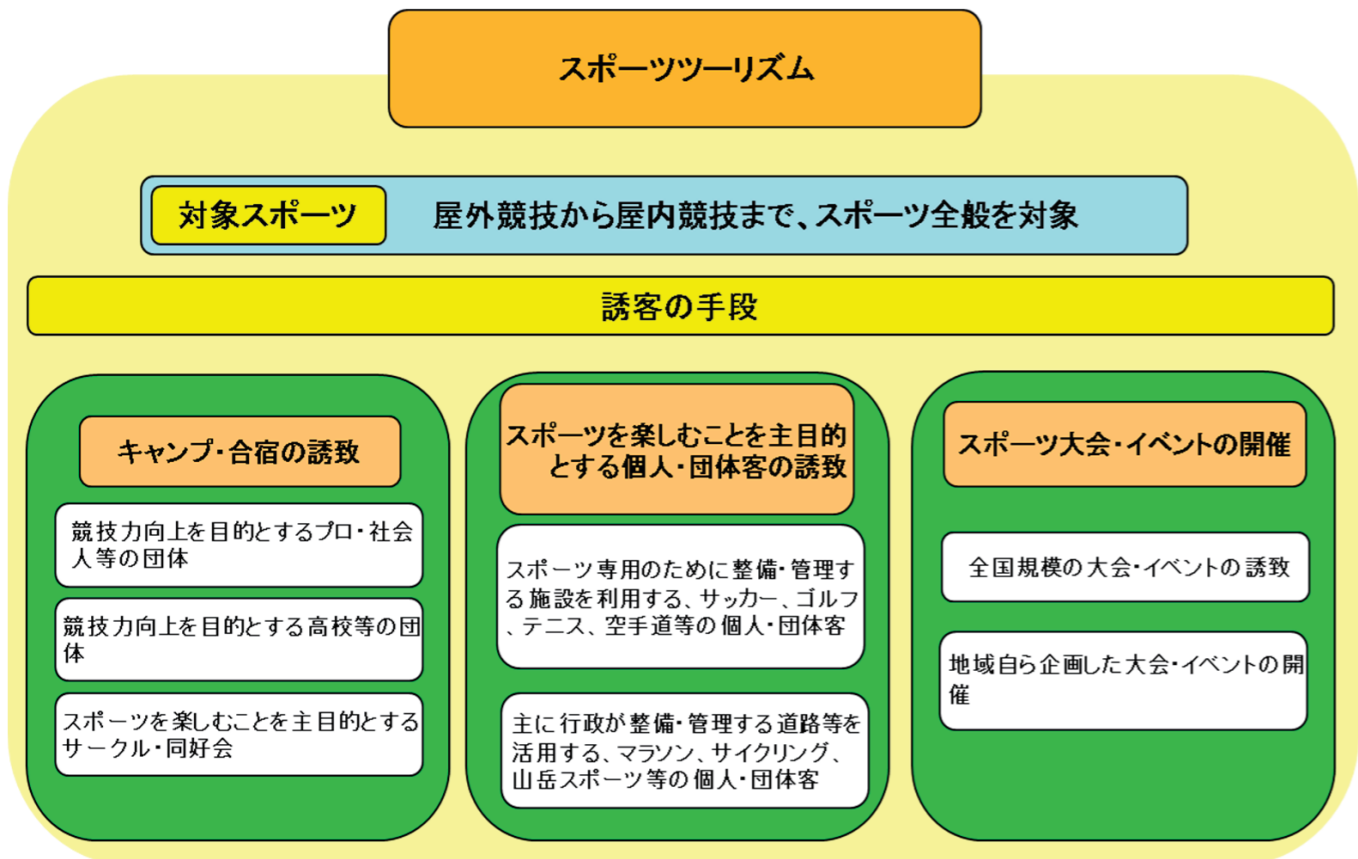
このプランに基づき、スポーツを通じて人を呼び、矢板市の持続的な発展に寄与するための活動を進めていきます。これまでも矢板市では様々なスポーツ大会やスポーツイベントが行われてきました。今後はそうした取組みを市や民間事業者、各スポーツ団体等が連携を図りながら、地域経済の活性化にどうつなげていくかという意識を持ちながら推進していくことが重要となります。また、近隣市町との連携・協力の可能性も視野に入れ、計画を推進していきます。

スポーツツーリズム推進の基本方針

スポーツツーリズムの推進は、上位計画と矢板市の課題の整理から、本市のスポーツツーリズムの基本方針を以下のとおり定めます。

- ①スポーツを通じた矢板市への誘客により、交流人口拡大を図る。
- ②宿泊、飲食、観光などの受入態勢の強化を図る。
- ③矢板市への経済波及効果の拡大を図る。

スポーツツーリズムの推進により、矢板市への誘客を図り、経済波及効果の拡大を図る



具体的な取り組み

スポーツツーリズム推進にあたっての取組みは、短期(1~3年)でやること、中長期(4年~)でやることの整理をし、来訪者の満足度を高め、経済波及を拡大する仕組みを整備するためにも、多様な関係者が情報を共有し、意見を述べ合い、協同してスポーツツーリズムの目標に向かって進むことが極めて重要であり、それらを調整・管理する組織が必要となります。

基本方針に基づいた以下の具体的施策については、「スポーツコミッション事務局」(後述)の設立を前提に進めていきます。

スポーツ交流人口の拡大		
	具体的施策	成果指標
短期 (1~3年)	<事務局の業務> 1)複数関係者による協議の場の設置及び進行管理 2)スポーツ大会・合宿等の整理及びデータベース化 3)アウトドアスポーツの充実 4)スポーツコミッションの事業計画策定 5)各種スポーツ大会の支援	協議の回数、議事録 整理したデータベース 八方ヶ原、県民の森入込数増加 事業計画の策定 満足度、経済波及効果
	<複数関係者での協議> 1)スポーツ施設の稼働率最大化 2)既存の大会・合宿の参加人数拡大 3)合宿のメッカにするための施策 4)市民向けスポーツ大会、教室開催 5)資源を活かしたスポーツイベント(市外の方向け)の企画検討及び実施 6)スポーツ施設の間合せ/予約/キャンセルのシステム化	現状稼働率からの増加 現状人数からの増加 リーディングプロジェクトの設定及び実施 スポーツ大会・教室参加人数増加 イベントの実施、参加者数 システム導入
中長期 (4年~)	<事務局業務> 1)大会、合宿の誘致	誘致数
	<複数関係者での協議> 1)(仮称)とちぎフットボールセンターの活用 2)栃木国体の開催を活用した誘客	国体関連イベントの企画、実施

宿泊・飲食・観光等の受入体制の整備、経済波及効果の最大化

	具体的施策	成果指標
短期 (1~3年)	<事務局の業務> 1)複数関係者による協議の場の設置及び進行管理 2)近隣宿泊事業者との連携・調整 3)参加者満足度の調査 4)関係事業者からの数値の聞き取り 5)情報発信、プロモーション	協議会の開催数 満足度向上 データベース整理 ホームページアクセス数増加
	<複数関係者での協議> 1)宿泊需要の取り込み 2)飲食需要の取り込み 3)お土産需要の取り込み	宿泊者数の増加 売上の増加 売上の増加
中長期 (4年~)	<事務局業務> 1)市との情報共有、調整 2)近隣市町との連携企画実施	企画参加者数、満足度
	<複数関係者での協議> 1)(仮称)とちぎフットボールセンターの活用 2)宿泊・飲食事業者の整備促進 3)国体開催需要の取り込み	整備数 宿泊数の増加、売上の増加